

【別表資料2】

自由社による、欠陥箇所「自主修正」案件・一覧表

「番号」は文科省の検定意見書に見える欠陥番号を、「基準」は適用した検定基準を指す。波線・下線は引用者。

No	番号	指摘箇所（白表紙本）	自主修正（市販本・不合格教科書）	備考（検定意見）	基準
1	2	（長崎県）	（長崎県・熊本県）（表紙見返し）	誤解するおそれ	3-(3)
2	3	「参詣道」のルビ「さんけい <u>ど</u> <u>う</u> 」	「さんけい <u>みち</u> 」（表紙見返し）	不正確	3-(1)
3	20	「明との貿易を一時独占し」	「明との貿易が盛んとなり」（14頁）	誤解するおそれ（遣明船の航路の実態）	3-(3)
4	21	大商人など10人の「会合衆」	「会合衆」と呼ばれた一部の大商人たち（15頁）	誤解するおそれ（「会合衆」の人数）	3-(3)
5	22	利休もその会合衆の一人 <u>で</u> 、	利休もその会合衆の一人 <u>だったと</u> <u>いわれ</u> 、（15頁）	理解し難い表現（88頁補注2と整合性）	3-(3)
6	25	「元興寺」のルビ「 <u>がんこうじ</u> 」	「 <u>がんごうじ</u> 」（19頁）	不正確	3-(1)
7	34	「神津島」のルビ「 <u>こうづしま</u> 」	「 <u>こうづしま</u> 」（21頁）	表記の不統一	3-(4)
8	36	「仰韶（洛陽）」	「仰韶」（22頁）	誤解するおそれ（同一箇所ではない）	3-(3)
9	40	紀元前3000年には、	紀元前3000年 <u>ごろ</u> には、（23頁）	誤解するおそれ（断定的に過ぎる）	3-(3)
10	46	「バルティア」	「 <u>バルティア</u> 」（25頁）	誤記	3-(2)
11	47	「清河」	「 <u>渭河</u> 」（25頁）	誤記	3-(2)
12	51	「 <u>落ち目のカエサルが</u> 」	「カエサルが」（27頁）	誤解するおそれ（カエサルの状況）	3-(3)
13	53	彼らはバビロニア王国に滅ぼされ、多くは首都バビロンに強制移住させられましたが、紀元前6世紀には解放され、	彼らはバビロニア王国に征服され、支配階級の多くはバビロンに連行されましたが、紀元前6世紀後半には解放され、（28頁）	誤解するおそれ（強制移住の経緯）	3-(3)
14	54	「自らの隣人を愛することによって義とされる」	「自らの隣人を愛することによって教義とされる」（29頁）	脱字（自主修正するも脱字のまま）	3-(2)
15	55	「六信」のルビ「 <u>ろんしん</u> 」	「 <u>ろくしん</u> 」（29頁）	不正確	3-(1)
16	58	「押出」のルビ「 <u>おんだん</u> 」	「 <u>おんだし</u> 」（31頁）	不正確	3-(1)
17	59	大型建物も <u>あり</u> ました。	大型建物跡が見つかっています。（32頁）	誤解するおそれ（同時期の建物に非ず）	3-(3)
18	60	集会場や共同作業場として使われ <u>ました</u> 。	集会場や共同作業場、遠方から訪れた人々をむかえる場であったとも考えられています。（32頁）	誤解するおそれ（断定的に過ぎる。）	3-(3)
19	61	高床式倉庫	高床式倉庫（復元）（32頁）	誤解するおそれ（復元である）	3-(3)
20	62	6本の柱の大型建物	6本の柱の大型建物跡（32頁）	不正確	3-(1)
21	64	銅鐸	銅鐸 <u>宝</u> （34頁）	誤解するおそれ（国宝マークが欠落）	3-(3)

No	番号	指摘箇所（白紙本）	自主修正（市販本・不合格教科書）	備考（検定意見）	基準
22	65	複数の国に <u>分裂した時代</u> が続きました。	複数の国が <u>争う時代</u> が続きました。(35頁)	誤解するおそれ (西晋の存在)	3-(3)
23	69	3世紀の後半、	3世紀の後半 <u>ごろ</u> 、(36頁)	誤解するおそれ (断定的に過ぎる。)	3-(3)
24	73	大阪 <u>市</u> 堺市	大阪 <u>府</u> 堺市 (37頁)	誤記	3-(2)
25	74	「⑦古墳の分布」(図中の赤丸)	赤：円墳 (37頁)	理解し難い表現	3-(3)
26	77	4世紀には、…南北朝時代となりました。	5世紀には、…南北朝時代となりました。(42頁)	誤解するおそれ (宋の建国年)	3-(3)
27	78	4世紀に「倭の五王」	5世紀に「倭の五王」(42頁)	誤り	3-(1)
28	80	「399 倭・百済が連合して新羅を討つ」	「399 倭・百済が連合して新羅を攻める。」(42頁)	不正確	3-(1)
29	81	「451 …安東大將軍」	「451 …安東將軍」(42頁)	誤り	3-(1)
30	82	「478 …これを最後に中国王朝と断絶。」	「478 …中国王朝と断絶。」(42頁)	誤解するおそれ (「断絶」)	3-(3)
31	88	(埼玉県立さきたま史跡の博物館蔵)	(埼玉県立さきたま史跡の博物館提供) (43頁)	誤解するおそれ (所蔵者)	3-(3)
32	89	「万葉仮名で記されています。」	「万葉仮名を用いて記されています。」(43頁)	誤解するおそれ(全文万葉仮名と誤解)	3-(3)
33	91	「見つからないとそうよ」	「見つからないそうよ」(43頁)	誤記	3-(2)
34	93	日本書記	日本書紀 (44頁)	誤記	3-(2)
35	95	対馬(白?)	対馬(本土と同じ赤) (44頁)	誤解する恐れ(塗色)	3-(3)
36	97	聖徳太子の母親(④聖徳太子と天皇の系図)	赤丸を付加 (45頁)	理解し難い表現 (赤丸が欠落)	3-(3)
37	98	「615 仏教の研究書「三経義疏」成る」	「615 仏教の研究書「三経義疏」成ったとされる」(46頁)	誤解するおそれ (断定的に過ぎる。)	3-(3)
38	99	「603 官位十二階」	「603 冠位十二階」(46頁)	誤記	3-(2)
39	102	「犬上御田鋤」	「犬上御田鋤」(48頁)	誤解するおそれ(一般的でない表記)	3-(3)
40	103	「③水城の構想」	「③水城の構造」(50頁)	理解し難い表現 (図との関連不明)	3-(3)
41	106	「浄御原宮」ルビ「きよみはらぐう」	「きよみはらのみや」(51頁)	不正確	3-(1)
42	108	小見出し「1300年の歴史を持つ年号」	「1300年の歴史を持つ国号」(52頁)	理解し難い表現(年号の話ではない)	3-(3)
43	110	「朱雀門から大極殿を望む」(②平城京)	「朱雀門から大極殿を望む(それぞれ復元)」(54頁)	誤解するおそれ (復元である)	3-(3)
44	112	「10mをこえる城壁がめぐらされていました。」(⑤長安の城壁跡)	「10mをこえる城壁がめぐらされていました。現存する城壁は明の時代のものです。」(55頁)	理解し難い表現 (城壁の建設時期)	3-(3)
45	113	金堂は現存する世界最古の木造建築です。	世界最古の木造建築です。(56頁)	誤解するおそれ (金堂だけでない)	3-(3)
46	114	光明皇后は、	光明皇后は [□] 、(56頁)	理解し難い表現(本文中に注番号欠落)	3-(3)

No	番号	指摘箇所（白表紙本）	自主修正（市販本・不合格教科書）	備考（検定意見）	基準
47	115	「飛鳥宮」（地図中）	「飛鳥浄御原宮」（58頁）	不正確（名称）	3-(1)
48	116	都を遷すことで政治を立て直そうと決意しました。	都を遷すことで政治を立て直そうと決意しました [□] 。（58頁）	理解し難い表現（本文中に注番号欠落）	3-(3)
49	127	「優雅で繊細な趣を持つ寝殿造りの国風文化建築様式」	「優雅で浄土信仰を反映した国風文化建築様式」（65頁）	誤解するおそれ（平等院と寝殿造りの関係）	3-(3)
50	128	4つの視点から	3つの視点から（67頁）	理解し難い表現（3つの視点しかない）	3-(3)
51	131	「わが国強い国家となる必要性を感じさせた。」	「わが国が強い国家となる必要性を感じさせた。」（68頁）	脱字	3-(2)
52	133	「日宋貿易を始める」	「日宋貿易を拡大」（69頁）	誤解するおそれ（日宋貿易は平清盛の時代以前からある）	3-(3)
53	135	「②源氏・平氏の系図と武士の争乱」キャプション（乱と役の違い）	〔削除〕（70頁）	誤解するおそれ（例外もある）	3-(3)
54	139	源頼朝は、流刑地の鎌倉を拠点として	源頼朝は、鎌倉を拠点として（72頁）	誤り	3-(1)
55	140	平氏の領地は30か国あまりにもおよびました。	平氏が権益を持つ国は30か国あまりにもおよびました。（73頁）	誤解するおそれ（「領地」）	3-(3)
56	147	「源義朝は捕らえられて殺害されました。」	「源義朝は逃走中に討たれました。」（73頁）	誤り（「捕らえられて」）	3-(1)
57	148	「義朝の嫡男で14歳で乱に加わった源頼朝も捕らえられ」	「義朝の嫡男で13歳で乱に加わった源頼朝も捕らえられ」（73頁）	不正確（「14歳」）	3-(1)
58	151	「一遍上人絵伝」	「一遍上人絵伝 ……宝」（77頁）	表記不統一（国宝マーク欠落）	3-(4)
59	152	②モンゴル帝国の版図（13世紀後半の世界）	②モンゴル帝国の版図（1400年頃の世界）（78頁）	誤解するおそれ（「13世紀後半の世界」）	3-(3)
60	156	「④元寇防塁」	「④元寇防塁（復元）」（81頁）	誤解するおそれ（防塁は復元である）	3-(3)
61	157	「建人寺」（①鎌倉新仏教の6大宗派）	「建仁寺」（82頁）	誤記	3-(2)
62	159	「※持明院・大覚寺は両派が拠点とした寺の名前」（系図説明）	「※持明院・大覚寺は両派が御所とした場所の名前」（84頁）	誤解するおそれ（「拠点とした寺」）	3-(3)
63	160	「崇光」のルビ「すうこう」	「すこう」（84頁）	不正確	3-(1)
64	161	管領という新たな役職につけました。	管領という役職につけました。（85頁）	誤解するおそれ（管領は新設ではない）	3-(3)
65	162	「3代将軍足利義満が内裏北西の京都室町に造営。」（⑦花の御所 洛中洛外図屏風）	「内裏北西の京都室町に置かれた将軍の邸宅」（85頁）	誤解するおそれ（義満造営ではない）	3-(3)
66	163	「門注所」（室町幕府のしくみ）	「間注所」（85頁）	誤記	3-(2)
67	164	「①明は…半分を切り取った券（勘合）100枚を室町幕府に渡します。」	「①明は…勘合の側の100枚を室町幕府に渡します。」（86頁）	誤解するおそれ（「半分に切り取った券」が勘合ではない）	3-(3)

No	番号	指摘箇所（白表紙本）	自主修正（市販本・不合格教科書）	備考（検定意見）	基準
68	167	博多の位置（地図）	〔訂正〕（87頁）	不正確	3-(1)
69	169	「② 鍛冶職人「職人尽絵」	「②鍛冶職人「職人尽絵」… <u>重</u> 」(88頁)	表記不統一（重要文化財マーク欠落）	3-(4)
70	172	「① 乱暴をはたらく足軽	「① 乱暴をはたらく足軽 …（ <u>真如堂縁起絵巻</u> ）」（90頁）	表記不統一（作品名欠落）	3-(4)
71	174	「將軍義政が東山の別荘（ <u>銀閣</u> ）に設けた書齋。」（⑤書院造 東求堂同仁齋）	「將軍義政が東山の別荘（ <u>現・慈照寺</u> ）に設けた書齋。」（93頁）	誤解するおそれ（銀閣と東求堂は別）	3-(3)
72	177	タイトル「わかったこと②佐藤さんのルーツ」	「わかったこと①佐藤さんのルーツ」（96頁）	理解し難い表現（②ではない）	3-(3)
73	179	「②…1336年室町幕府を創設し」（【さくらさんのノート 足利尊氏】）	「③その後、後醍醐天皇に背いて室町幕府を創設し」（99頁）	理解し難い表現（尊氏の室町幕府創設は1336年ではない）	3-(3)
74	180	「②…日明貿易、南北朝の合一などの事績を残した」「③…南北朝の合一を進めたのも尊氏で」	〔削除〕（99頁）	誤り（義満の事績と混同している）	3-(1)
75	181	「 <u>国風文化</u> 」（「ひとこと」作文の例）	〔削除〕（99頁）	理解し難い表現（中世と「国風文化」）	3-(3)
76	183	「コーランか剣か」	「コーランか <u>貢納</u> か剣か」(102頁)	誤解するおそれ（「コーランか剣か」）	3-(3)
77	184	「（塩野七生『十字軍物語』などをもとに作成）」（②十字軍遠征当時の初代教皇世界とイスラム世界）	〔削除〕（102頁）	典拠が不適切	2-(9)
78	186	「右はルネサンス時代の <u>ポッテイチェリ</u> の作品です。」（⑤2つの聖母子像）	「右はルネサンス時代の作品です。」（103頁）	誤解するおそれ（作者）	3-(3)
79	187	「絵は、 <u>エルサレム</u> に向けて <u>船出</u> するところです。」（⑥十字軍）	「絵は、第4回十字軍による <u>戦い</u> を描いたものです。」（103頁）	誤解するおそれ（絵のモチーフ）	3-(3)
80	190	「1534年、カトリックの <u>イエズス</u> 会創立。」（⑤ヨーロッパ人による新航路の開拓）	「1534年、カトリックの <u>イエズス</u> 会創立。」（105頁）	不正確	3-(1)
81	192	「④南蛮屏風 狩野内膳筆」	「④南蛮屏風 狩野内膳筆… <u>重</u> 」（107頁）	表記不統一（重要文化財マーク欠落）	3-(4)
82	195	「（愛知県・犬山城白帯文庫蔵）」（⑤長篠合戦図屏風）	「（愛知県・犬山城白帯文庫蔵）」（112頁）	不正確	3-(1)
83	197	「…かすがいに <u>使え</u> 」（刀符令）	「…かすがいに <u>使う</u> 」（114頁）	不正確（「使え」）	3-(1)
84	199	文末についている注番号3	〔削除〕（115頁）	誤記（対応する側注3がない）	3-(2)
85	200	済州島及び「羅州」の東西にある二つの小島の塗色（⑤朝鮮出兵地図）	〔朝鮮半島と同色に着色〕(115頁)	誤解するおそれ（朝鮮半島の着色との差異）	3-(3)
86	201	「 <u>対島</u> 」（朝鮮出兵地図）	「 <u>対馬</u> 」（115頁）	誤解するおそれ（一般的な表記と誤解）	3-(3)

No	番号	指摘箇所（白表紙本）	自主修正（市販本・不合格教科書）	備考（検定意見）	基準
87	204	「(狩野探幽筆 大阪城天守閣蔵蔵)」(①徳川家康)	「(狩野探幽筆 大阪天守閣蔵)」(120 頁)	誤記	3-(2)
88	206	「朝倉市秋月郷土館蔵」(⑤島原の乱 島原陣図屏風)	「朝倉市秋月博物館蔵」(123 頁)	不正確（所蔵機関の名称変更）	3-(1)
89	208	「滋賀大学経済学部附属史料館蔵」(⑦琉球貿易図屏風)	「滋賀大学経済学部附属史料館蔵」(125 頁)	不正確	3-(1)
90	210	「東京大学史料編纂蔵」(①聖堂講釈図)	「東京大学史料編纂所蔵模写」(128 頁)	誤記	3-(2)
91	212	「③燕子花図屏風（右隻）」	「③燕子花図屏風（右隻）…宝」(129 頁)	表記不統一（国宝マーク欠落）	3-(4)
92	213	「橋本佐内」(③緒方洪庵)	「橋本左内」(132 頁)	誤記	3-(2)
93	214	「5 年間の滞在中に蝦夷・樺太まで踏査して」(④シーボルト)	「5 年間の滞在中、江戸まで商館長の出府に随行するなどして」(132 頁)	誤り	3-(1)
94	215	「1856 吉田松陰 松下村塾」	「1857 吉田松陰 松下村塾」(松陰が教育開始) (133 頁)	不正確（松下村塾の設立年）	3-(1)
95	216	「寒暖計などを発明しました。」(⑧平賀源内)	「寒暖計などを復元しました。」(133 頁)	誤解するおそれ（「発明」）	3-(3)
96	219	「大阪町奉行所」(⑦大塩平八郎の乱)	「大阪町奉行所」(137 頁)	表記不統一（120 頁）	3-(4)
97	220	海外との貿易によって政治力をつけ、藩財政の立て直しに成功した薩長両藩は	藩財政の立て直しに成功した薩長両藩は (137 頁)	誤解するおそれ（長州藩は海外との貿易に従事せず）	3-(3)
98	224	「イ 中山道 江戸～下諏訪」 「ウ 甲州街道 江戸～京都」	「イ 中山道 江戸～京都」「ウ 甲州街道 江戸～下諏訪」(144 頁)	誤り	3-(1)
99	228	「役割身分制」(兄の二段目の吹き出し)	「役割」(146 頁)	誤解するおそれ（表現が一般的でない）	3-(3)
100	230	『民法の精神』(モンテスキュー)	『法の精神』(150 頁)	不正確（書名）	3-(1)
101	231	しかしその後アメリカの独立戦争を支持したこともあり、	しかし政策の失敗や浪費が続いた結果、(150 頁)	誤解するおそれ（ルイ 14 世の治績）	3-(3)
102	232	「1825 ストックトン＝ダーリントン間に鉄道開通」	「1825 ストックトン＝ダーリントンに鉄道開通」(152 頁)	誤植	3-(2)
103	235	「その最初の 1 行目には、「すべての歴史は階級闘争の歴史である」と書かれていました。」	「その第一章の冒頭には、「すべての歴史は階級闘争の歴史である」と書かれていました。」(153 頁)	誤解するおそれ（最初の 1 行目の記述ではない）	3-(3)
104	236	「イギリスが最初に進出したのは、インドで、」	「イギリスが進出して最も力を入れたのはインドで、」(154 頁)	誤解するおそれ（最初に進出したのはインドではない）	3-(3)
105	238	軍艦から大砲を撃って、植民地を征服し続けました（砲艦外交）。	軍艦の大砲を脅しにして、植民地を征服し続けました（砲艦外交）。(155 頁)	理解し難い表現（「砲艦外交」の定義）	3-(3)

No	番号	指摘箇所（白表紙本）	自主修正（市販本・不合格教科書）	備考（検定意見）	基準
106	245	この事件に怒った幕府は、	その後も諸藩と異国船をめぐる事件が相次いだため幕府は、(157頁)	誤解するおそれ（フェートン号事件と異国船打払令の関係）	3-(3)
107	246	幕府はこれをイギリス船と誤認し、	幕府はこれを打払令に従い、(157頁)	不正確	3-(1)
108	247	高野長英は永牢（無期懲役）罪となりました。（側注2）	高野長英は永牢（終身刑）罪となりました。（157頁）	不正確（「無期懲役」）	3-(1)
109	248	5港を開きました。	5港を開くことを約束しました。（159頁）	誤解するおそれ（修好通商条約と兵庫開港との関係）	3-(3)
110	251	こうして尊王攘夷運動は尊皇倒幕運動へと転化していきました。	こうして尊王攘夷運動は尊皇倒幕運動へと転化していきました。（162頁）	表記不統一（「尊王」と「尊皇」）	3-(4)
111	254	太政大臣、右大臣、参議による閣議が政治を指導する仕組みとなりました。	太政大臣を筆頭とする閣議が政治を指導する仕組みとなりました。（166頁）	誤解するおそれ（左大臣の存在）	3-(3)
112	255	版籍奉還後も藩主は藩知事として残り	版籍奉還後も藩主は知藩事として残り（166頁）	誤解するおそれ（「藩知事」は正式名称ではない）	3-(3)
113	260	「按司」のルビ「あんじ」	「あじ」（174頁）	理解し難い表現（87頁のルビと不統一）	3-(3)
114	265	「旧暦の明治5年12月3日が、新暦の1月1日となりました。2回の閏月もなくなりました。財政難の政府は官吏にはらっていた月給の3回分を節約できて、大助かりでした。」	「旧暦で予定されていた明治6年の閏月がなくなり、政府は官吏の月給のうち、明治5年の12月分と閏月分の2ヶ月分を節約できました。」（179頁）	理解し難い表現（閏月と月給支払いの回数との関係）	3-(3)
115	266	「立志社の中から植木枝盛、河野広中といった」	「立志社の中から植木枝盛などの」（182頁）	誤解するおそれ（立志社と河野広中の関係）	3-(3)
116	267	1990年の国会開設まで（側注1）	1890年の国会開設まで（183頁）	誤り（「1990年」）	3-(1)
117	268	藩閥とは、薩摩藩や長州藩の出身者が自藩の出身者で政府の要職を占めようとしたことをさします。（側注2）	藩閥とは、明治・大正期に旧藩に由来する政治集団のことですが、狭い意味では明治維新をリードした薩摩、長州両藩の出身者が政府の要職を占めようとしたことをさします。（183頁）	誤解するおそれ（藩閥の定義）	3-(3)
118	270	「全国で3000件にも及びました。」（⑤民間の憲法草案）	「全国で100件を超えるものでした。」（183頁）	誤解するおそれ（「3000件」は断定的に過ぎる。）	3-(3)
119	272	「国務各大臣は天皇を補弼しその責に任ず」（⑤大日本帝国憲法の主な条文）	「国務各大臣は天皇を輔弼しその責に任ず」（185頁）	理解し難い表現（184頁には「輔弼」とある）	3-(3)

No	番号	指摘箇所（白紙本）	自主修正（市販本・不合格教科書）	備考（検定意見）	基準
120	276	「ロシアは開通したシベリア鉄道と支線となる南満州鉄道を使って」（①日露戦争の戦場）	「ロシアは開通したシベリア鉄道とハルビンからの支線（後の南満州鉄道）を使って」（192頁）	理解し難い表現（南満州鉄道設立は後のこと）	3-(3)
121	278	「現在は横須賀港に係留されています」（⑥戦艦「三笠」）	「現在は横須賀港に保存されています。」（193頁）	誤解するおそれ（「三笠」の現状）	3-(3)
122	280	「不眠不休で戦艦を修復」（全体）	「大量に集まった戦地向け毛布」（195頁右半分全体）	典拠が不適切	2-(9)
123	281	「伊東公資料館蔵」（ベルリンで憲法調査の時期の伊藤博文）	「伊藤公資料館蔵」（197頁）	誤記	3-(2)
124	282	米、露、仏等の西欧列強	米、露、仏等の欧米列強（198頁）	誤解するおそれ（「西欧」）	3-(3)
125	284	日本は、親日派の勢力を背景に日韓議定書を結び、韓国併合を断行しました。	日本は、親日派の勢力を背景に条約を結び、韓国併合を断行しました。（198頁）	誤り（「日韓議定書」）	3-(1)
126	287	「李朝時代」（②日本語と朝鮮語（ハングル）を併用する教科書）	「李氏朝鮮の時代」（198頁）	理解し難い表現（86頁には「朝鮮（李氏朝鮮）」とある）	3-(3)
127	289	「軍閥」のルビ「ぐんばつ」	「ぐんばつ」（199頁）	誤記	3-(2)
128	290	「東京同盟会」（④孫文と日本）	「中国同盟会」（199頁）	理解し難い表現（同頁に「東京で中国同盟会を組織」とある）	3-(3)
129	293	「新日鉄住金株式会社八幡製鉄所蔵」（②建設中の八幡製鉄所）	「新日鐵住金八幡製鐵所蔵」（200頁）	不正確（所蔵者）	3-(1)
130	294	「旅順攻略戦をまるで物理学のように研究していた」	「旅順攻略戦をまるで物理学のように分析していた」（202頁）	誤解するおそれ（「研究していた」）	3-(3)
131	295	「統治者 幕府に認知された藩主（大名）」	「統治者 幕府が認めた藩主（大名）」（209頁）	理解し難い表現（「認知」）	3-(3)
132	299	袁世凱は、日本の要求の大部分を正当なものと認めつつ	袁世凱は、外部に公表しないことになっていた希望条項を含めて（213頁）	誤解するおそれ（「大部分を正当なものと認めつつ」）	3-(3)
133	300	「多くの男性が出兵したことで」（⑦工場ではたらく女性）	「多くの男性が出征したことで」（215頁）	誤記（「出兵」）	3-(2)
134	301	②第一次世界大戦のヨーロッパ地図	〔アイルランドの塗色を修正〕（216頁）	誤解するおそれ（アイルランドが「ベルサイユ条約の民族自決の原則で独立した国」と誤解する）	3-(3)
135	303	伊藤博文の歴代首相代数「10」（⑥藩閥内閣から政党内閣へ）	「10★」（219頁）〔★は立憲政友会の内閣であることを示す〕	表記不統一（★マーク欠落）	3-(4)
136	304	門戸解放	門戸開放（221頁）	誤記	3-(2)
137	306	死者は10万5000人に達しました（関東大震災）。	死者・行方不明者は10万5000人に達しました（関東大震災）。（221頁）	誤解するおそれ（「死者」）	3-(3)

No	番号	指摘箇所（白紙本）	自主修正（市販本・不合格教科書）	備考（検定意見）	基準
138	307	志賀直哉の説明文（①大正期の代表的作家・研究者）	〔「文化勲章受章。」を追加〕（222頁）	誤解するおそれ（志賀直哉の文化勲章受章）	3-(3)
139	308	「 <u>とうい言葉</u> 」（⑤三越開店のポスター）	「 <u>という言葉</u> 」（223頁）	誤記	3-(2)
140	312	それぞれの国の政府を <u>転覆する</u> など、破壊活動を行いました。	それぞれの国の政府を <u>転覆させよ</u> と破壊活動を行いました。（227頁）	誤解するおそれ（各国の共産党の一般的な活動）	3-(3)
141	315	「1927.9 国民政府」（①北伐の経路図）	「1927.4 国民政府」（228頁）	誤解するおそれ（国民政府樹立の時期）	3-(3)
142	319	「116° 27°」（⑦日露協約（1912年）によって定められた日露の勢力範囲）	「116° 27'」（229頁）	理解し難い表現	3-(3)
143	322	「侍従長として天皇の信頼があつかった鈴木貫太郎（ <u>写真左側中段</u> ）は」（⑦二・二六事件）	「侍従長として天皇の信頼があつかった鈴木貫太郎は」（231頁）	誤り（「写真左側中段」の人物は鈴木貫太郎ではない）	3-(1)
144	330	「 <u>ソ連国籍のドイツ人リヒャルト・ゾルゲ</u> 」（⑦北進・南進論とゾルゲ事件）	「 <u>ドイツ国籍のソ連共産党員リヒャルト・ゾルゲ</u> 」（235頁）	誤解するおそれ（ゾルゲの所属）	3-(3)
145	331	ドイツから中国へのびる青い矢印（②第二次世界大戦開始後・日米開戦直前の国際関係）	〔矢印を消去〕（236頁）	誤解するおそれ（当時の中独関係）	3-(3)
146	333	「 <u>ABCD包網</u> 」（チャレンジ）	「 <u>ABCD包囲網</u> 」（237頁）	脱字	3-(2)
147	338	1943年にドイツ軍はソ連のスターリングラードに攻め込みましたが、（補注5）	同年、ドイツ軍はソ連のスターリングラードに攻め込みましたが、（239頁）	誤り（年次）	3-(1)
148	341	「③大東亜会議におけるアジア諸国代表の発言（1943年11月15～16日）」（③タイトル）	「③大東亜会議におけるアジア諸国代表の発言（1943年11月5～6日）」（240頁）	誤解するおそれ（大東亜会議の開催日程）	3-(3)
149	345	「 <u>郷土防衛隊</u> （略称=PETA）」（⑤）「 <u>PETA（郷土防衛隊）</u> 」（⑥）	「 <u>郷土防衛義勇軍</u> （略称=PETA）」「 <u>PETA（郷土防衛義勇軍）</u> 」（241頁）	理解し難い表現（249頁に「PETA（郷土防衛義勇軍）」とある）	3-(3)
150	351	札幌農学校を卒業後、農政学を学ぶため渡米します。 <u>アメリカで新渡戸はキリスト教徒となり</u>	卒業後、農政学を学ぶために渡米し、そこでアメリカ人の女性と結婚しました。（246頁）	不正確（入信時期）	3-(1)
151	353	新渡戸は <u>官職のほかにも京都帝国大学教授…などもつとめ</u>	新渡戸は <u>そのほかにも京都帝国大学教授…などもつとめ</u> （246頁）	理解し難い表現（京都帝大教授も官職）	3-(3)
152	359	「 <u>上海事件</u> 」「 <u>アジア開放</u> 」	「 <u>上海事変</u> 」「 <u>アジア解放</u> 」（252頁）	誤記	3-(2)
153	362	「⑥アメリカが石油輸出禁止など経済封鎖をしたため、日本は資源を求めて東南アジアに <u>進出した</u> 」	「⑥アメリカが石油輸出禁止など経済封鎖をしたため、日本は資源を求めて東南アジアへの <u>進出をさらに推し進めた</u> 」（253頁）	誤解するおそれ（アメリカの石油輸出禁止と東南アジア進出の時系列的関係）	3-(3)

No	番号	指摘箇所（白表紙本）	自主修正（市販本・不合格教科書）	備考（検定意見）	基準
154	368	「北方領土は…千島列島のうち択捉島、国後島、歯舞群島、色丹島の北方4島の範囲を指します」	「北方領土は…択捉島、国後島、歯舞群島、色丹島の北方4島の範囲を指します」(263頁)	理解し難い表現（北方4島は千島列島には含まれない）	3-(3)
155	370	「1948 吉田茂（第2次）」	「1948 吉田茂（第3次）」(264頁)	誤解するおそれ（条約締結・発効時の吉田内閣）	3-(3)
156	371	吉田茂政権など自由党政権も、	吉田茂の自由党政権もその後の自民政党政権も、(265頁)	誤解するおそれ（「吉田茂など自由党政権」と自民政権の時系列的関係）	3-(3)
157	373	奄美諸島	奄美群島	表記不統一（262頁では「奄美群島」）	3-(4)
158	375	「大躍進」と呼ばれた農業政策	「大躍進」と呼ばれた農業・工業政策（270頁）	誤解するおそれ（「大躍進」の性格）	3-(3)
159	376	小見出し「米の政策転換と日中国交回復」	「米の政策転換と日中国交正常化」(271頁)	不正確（「日中国交回復」）	3-(1)
160	377	世界無形文化遺産	ユネスコ無形文化遺産（273頁）	不正確（「世界無形文化遺産」）	3-(1)
161	378	「江崎玲於奈」のルビ「えざきれおな」	「えさきれおな」(273頁)	不正確	3-(1)
162	379	「カズオ・イシグロ」(◎日本人のノーベル賞受賞者（一覧表）)	〔削除〕(273頁)	誤解するおそれ（国籍）	3-(3)
163	380	「中国人民解放軍の戦車に立ち向かう学生。」(④天安門事件)	「中国人民解放軍の戦車に立ち向かう市民。」(275頁)	誤解するおそれ（断定的に過ぎる。）	3-(3)
164	382	②中東を中心とした地域紛争の地図	〔各紛争・戦争に年次を付加〕(276頁)	地図に、学習上必要な年次が示されず。	2-(10)
165	386	「1990(平成2)年の湾岸戦争などを機に」(⑥憲法改正の動き)	「1991(平成3)年の湾岸戦争などを機に」(279頁)	不正確（1990(平成2)年）	3-(1)
166	387	灯台守は持っていた国旗から	灯台守は彼らが示した国旗から(280頁)	誤解するおそれ（トルコ人であることを知った経緯）	3-(3)
167	388	「②…北緯38度の軍事境界線」	「②…北緯38度付近の軍事境界線」(287頁)	誤解するおそれ（北緯38度線が軍事境界線ではない）	3-(3)
168	393	「運金」(事項さくいん)	「運上金」(292頁)	誤植	3-(2)
169	394	「祖」(事項さくいん)	「租」(294頁)	誤植	3-(2)
170	395	「土三湊」(事項さくいん)	「十三湊」(295頁)	誤植	3-(2)
171	396	「渡辺華山」(人名さくいん)	「渡辺華山」(300頁)	誤植	3-(2)
172	402	「ロンバルト王国」(世界各国・王朝の興亡一覧)	「ロンバルド王国」(裏見返し)	誤記	3-(2)
173	404	「ギリシア王国」「ギリシア共」(世界各国・王朝の興亡一覧)	「ギリシャ王国」「ギリシャ共」(裏見返し)	表記不統一（26頁見出しは「ギリシャ」）	3-(4)

上記以外に「自主修正」したと思われる事例（上記件数にはカウントせず、保留とする）

No	番号	指摘箇所（白表紙本）	自主修正（市販本・不合格教科書）	備考（検定意見）	基準
1	27	春日大社を示す記号（㊦）	㊦の位置を修正か？（19 頁）	不正確（㊦の位置）	3-(1) *
2	209	「㊸鎖国日本の4つの窓口」	塗色を修正？（125 頁、144 頁）	誤解するおそれ（塗色）	3-(3)
3	297	マレー半島の塗色（㊹19 世紀後半のヨーロッパ列強のアジア進出地図）	マレー半島の塗色を修正？（154 頁）	誤解するおそれ（19 世紀後半におけるイギリス領）	3-(3)
4	243	久米島の位置（㊺欧米諸国の船が目撃された件数）	久米島の位置を修正？（156 頁）	不正確	3-(1)

* No.1、欠陥番号 27 の適用検定基準は、検定意見書には 3-(3)とあるが、3-(1)の誤り（文科省のミスである。）